

令和8年度 大阪府

結核・呼吸器感染症 予防週間啓発セミナー

入場
無料

令和8年 **9.30** 水 14:00-16:00

会場 大阪健康安全基盤研究所 OIPH ホール
(〒537-0025 大阪市東成区中道1-3-3)

定員 最大**100**名

内容 講演、体験コーナー（正しい手洗い方法）、
展示啓発コーナー



申込方法

以下WEBページまたは右記二次元
コードよりお申し込みください

<https://forms.gle/J56U3XykYbcodreN7>



講演内容

講演 1. 古くて新しい病気“結核”
講演 2. 呼吸器感染症の情報と対策
—新型インフルエンザも含めて—

アクセス

大阪健康安全基盤研究所
OIPHホール

JR大阪環状線、
Osaka Metro 中央線
森ノ宮駅5番出口から
徒歩約2分



講師

大阪健康安全基盤研究所 理事長
朝野 和典氏



1. 古くて新しい病気“結核”

日本では結核は新規の患者が人口10万あたり10以下の低まん延国になり、欧米の先進国の仲間入りをしました。結核は一度感染して体の中で眠っていた菌が起きだして病気を起こすことが大半です。昭和も100年となりましたが、第2次大戦前後の昭和の時代にたくさんの日本人が感染し、今発病しています。そのため、昭和の時代を経験した60歳以上の人が新規患者の7割を占めています。しかし、これからは、国際交流が進み、昔の日本のように今から発展する国から来た若い人たちの発症も増えてきます。日本も昔来た道を、海外の途上国の人たちも経験しているのです。日本が結核を減らしてきた過程には、検診がありました。これからは検診をしっかりしながらさらに結核を減らすように努力していく必要があります。

2. 呼吸器感染症の情報と対策—新型インフルエンザも含めて—

まず最初に、新型コロナウイルスやインフルエンザを含めた世界と日本の呼吸器感染症の動向(疫学)のお話をします。次に来ると予想されている新型インフルエンザのことにもふれてみたいと思います。それから感染症から身を守る「感染対策」についてお話をします。感染症は、コミュニケーション・ディーズといって病気を人からもらいます。だからと言ってまったく外に出ずに家の中にいたら感染症にはなりませんが、心臓の病気や筋力が衰えてしまいます。呼吸器感染症は、感染経路を理解し、感染経路別の有効な対策を知っていれば、多くの病原体を防ぐことができます。また、慢性的な病気があると重症化することもあります。感染症の起こり方を知って、できるだけ健康な生活を過ごすことが、感染症にかからない、かかっても治りやすくなる秘訣です。

主 催



地方独立行政法人
大阪健康安全基盤研究所

共 催

一般財団法人 大阪府結核予防会

問合せ先

大阪府健康医療部 保健医療室 医療・感染症対策課 TEL:06-6944-9157